

令和6年度 学校関係者評価書

東京学芸大学附属国際中等教育学校

1. 学校関係者による評価

領 域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	<p>高い質で野心にあふれた教員に恵まれ、今日まで、外国語教育、国際理解教育を積極的に取り入れてきたことはもとより、IBの学びのエッセンスを日本の教育に積極的に取り込み、新学習指導要領の先を走ってきたその先駆的な姿勢に敬意を表す。</p> <p>かつての本校の「出島」的な先取的なユニークさが、やがて日本全国の教育のデファクトに止揚してゆくことを祈る。そうでないと、やがて日本の未来は希望を失ってしまうであろうと危機感を抱いている。本校が絶滅危惧種になってはならないと思う。</p> <p>これからも、ますます学習者を中心に据えた学びへのアプローチを大事に、日本における新たな教育モデルの模索者としての果敢なるご健闘を祈念している。</p> <p>国内外への様々なフィールドワークにすべての校外学習へ教職員が引率することはできず、生徒一人の学校間交流等に関しては、安全管理に細心の配慮をしながら、研修先の受け入れ団体に生徒を引き渡したり、保護者による引率を依頼したりしていることについて、教職員へのメンタルヘルス、働き方改革への配慮も必要。</p> <p>卒業後に海外の大学へ進学する生徒も多い。LEやイマージョン教育で英語の力をつけていることがわかる。</p> <p>ポストコロナの時代に、コロナ禍の学校運営を振り返る機会を持ってほしい。</p>
教育活動	<p>入学した生徒が6年間で英語教育だけでなく、世界中から帰国・来日してきた生徒たちに囲まれて、海外での生活や文化について知ることができる環境が良かった。英語でのプレゼンテーションをする機会が多く発表する力、批判的な思考スキルを鍛えられた。卒業時は自信をもって自己表現ができるようになり素晴らしい。</p> <p>国際的な教育を本校の特色として、生徒には主体的に学ぶような環境を引き続き作ってほしい。ISSチャレンジのテーマには、「あやとり」や「たまねぎ」などが登場し、生徒の興味関心が多様であることがうかがえて面白い。研究成果を発表できる機会は次へのモチベーションにつながる。</p> <p>特別の教育課程について</p> <p>海外の教育機関で学習の経験がない生徒にとっても、イマージョン授業で帰国生とともに学習できる経験は貴重である。授業中に英語が飛び交う環境で、帰国生でなくても英語の授業にチャレンジできる機会は大切。</p> <p>イマージョン授業の学習内容は、学習指導要領に沿っているとのこと、授業者の文化背景なども授業内容に反映されていて多様でよい。学習指導要領上の学習内容でも、国外からの視点が加わることにより広い視点から物事を見るきっかけとなる。帰国生徒にとっても、帰国後に日本語の授業ばかりで大変なところ、英語での授業に参加することによって良い学習環境となっている。</p> <p>クラスサイズについて、履修生徒人数に関わらず開講することは大学の予算上厳しいだろうが、続けるべき。履修人数が少ないから開講を停止するのではなく、履修人数を増やす方法を検討すべき。</p> <p>LEやそれに続くイマージョン授業は、社会に出てからの様々な分野で英語による文献を読ん</p>

	<p>だり、発表したり、世界中の人々とコミュニケーションをとることが考えられることから非常に有効。話す、聞くだけでなく、読む、書くスキルも伸ばすことが大切。</p>
研究活動	<p>本校には現在の教育・研究のスタンスを継続してほしいと願う。国内外の教育界、政治環境を見ると、グローバル化が進む一方で、閉鎖的な状況になってきていることもうかがえる。常に開かれた教育・研究を続けてほしい。</p>
学生の教育 ・ 支援活動	<p>十分な支援環境が整備されているように思われる。次年度以降の目標を定める際に、学生・研修現職教員等にとってより良い環境を整備できるよう検討すべき。</p>
社会貢献 活動	<p>SA活動として様々な社会貢献活動が行われていることを評価する。校外ですれ違う登下校中の生徒は英語で会話していることもあり、国際的な一面がみられる。 学校評価アンケートで地域・校外コミュニティとの連携について評価する声が50%を超えたことは評価できる。学校での社会貢献活動や対外的な交流がしっかりと関係者に伝わった。</p>

2. 評価の実施概要

対面会議を実施し、意見を収集した。メンバーの一部が同時双方向型オンラインで参加した。

資料として、学校経営計画及び数値目標の達成度合い、各分掌の点検・評価、学校アンケート結果、進路実績、年間行事予定表、学校要覧、パンフレット、ニュースレターを配付した。

3. 学校関係者評価委員会開催日 令和7（2025）3月13日

4. 学校関係者委員会委員

● 保護者

PTA会長

前田 るり

● 学校評議員

岡本 裕明

貫井 里美

福元 雄二郎

古屋 力

増井 多恵子

山口 博明